

教育研究研修センターだより



通巻 No.296

令和7年3月18日（火）発行

自立に向かって成長する子ども ～子どもは未来からの留学生～

岡山市中学校長会 会長
岡山市立京山中学校 校長 佐藤 成実

「子どもは未来からの留学生」

尊敬する先輩から教えていただいた言葉です。その言葉を聞いたころ、社会人となった卒業生と話を
する機会があり、まさに、留学生が未来へと帰っていった姿を見ることができました。目の前にいる子
どもの「今」にかかわることが、その「未来」につながっていくことを実感しました。

未来へ帰っていく子どもたちに、今を生き、未来につながるよう、校長2年目から生徒に伝えたい思
いを「座右の銘」として年度初めの始業式に伝えています。令和4年度は世の中がまだまだコロナ禍で
先が見通せず、マスクに隠された表情が読み取れない状況が当たり前になっていたことから「笑顔で挑
む」としました。制限された活動の中でも、生徒たちはそれぞれの今に一生懸命挑んでいました。その
年の文化発表会は3年生だけ体育館で鑑賞しました。休憩時間にある生徒が私のところに来て「校長先
生、テレビの画面ではなく、こうして目の前で発表を見ることができてうれしいです。」と言ってくれま
した。教室のテレビ画面ではなく、体育館で鑑賞することはその学年にとっては中学校に入学して初め
てのことでした。マスクはしていたけれど、その生徒の笑顔を見ることができました。

挑んだその先に続いていく人生を見つめてほしいと考え令和5年度は「笑顔で挑む 夢のその先へ」
としました。年度途中でコロナが5類となり、学校現場でもできることが増えていきました。世の中が
急に動きを取り戻したように感じました。生徒たちにも今だけではなく、ずっと続いているその先を見
通してほしいという思いからです。校長との教育相談で志をもって夢を話してくれた生徒から、この先
がどうなるか楽しみに思えました。

そして、今年度本校が創立50周年を迎え、京山中学校にかかわるすべての方々の未来が輝いてほし
いという思い、子どもたちがそれぞれの未来に向かって進んでほしいという思いから、「笑顔で挑
む 夢のその先へ 未来を創る」としました。令和4年度から伝えている座右の銘は、3年間で少しず
つ長くなっていきました。

座右の銘がどこまで浸透しているのかは、今はまだわかりませんが、その未来のどこかにつながるこ
とを楽しみにしています。

子どもたちが帰っていく未来は、予測不可能な時代だと言われています。AI との共存が今より進み、
今ある仕事の代わりに新しい仕事も生まれると言われています。

今年度も地区の学校園の取組を聞く機会がありました。「京山地区 ESD・SDGs フェスティバル」の
「活動発表会」です。そこで、子どもは乳幼児期から学童期を経て中学生としての今につながっており、
その先へ広がっていくことを目の当たりにしました。中学校は義務教育の締めくくりの3年間です。そ
の先に広がる未来をたくましく生きていくためにも今だけではなく、過去と未来をつなぐ視点が大切で
あることを改めて感じました。

自立に向かって成長する過程では、頭や心にあることを整理するために「言葉」が大切だと思ってい
ます。座右の銘として伝えた言葉がこの先、どこかで子どもたちを支える力となってほしいと思ってい
ます。

令和6年度 OJT若手教員育成支援プロジェクト

「若手教員の指導力向上」と「校内の若手教員育成支援体制の構築・充実」を図ることを目的に始まった本事業も5年目を終えました。今年度もOJT支援員が年間5回各校を訪問し、授業参観や研究協議を通してOJTの活性化につながる取組を進めました。

参加校及び対象若手教員数

〔 〕内は令和5年度 小：小学校 中：中学校 義：義務教育学校

| | 参加校 | 教諭 | 常勤講師 |
|-----|----------|-------------------------------|--------------------------------------|
| 小 | 34校〔36校〕 | 61人〔62人〕 (2年目：35人、3年目：26人) | 48人〔40人〕 (1年目：18人、2年目：21人、3年目：9人) |
| 中・義 | 21校〔15校〕 | 21人〔16人〕 (2年目：15人、3年目：6人) | 29人〔28人〕 (1年目：21人、2年目：5人、3年目：3人) |

参観授業



音の響きや重なり合いを確かめながらロックミュージックを作りました。教師がグループや個人に丁寧にに関わり、発言や思いを受け止めて価値付けたことが意欲的な学習につながりました。(小3年音楽)



かけざんの単元の導入です。大型テレビに遊園地の絵を見せて「ゴーカートに乗っているのは何人ですか」と尋ね、「2人ずつ乗っていて〇台分だから…」という思考を促し、授業のねらいにつながりました。(小2年算数)

研究協議

授業反省や感想を基に協議の柱を決めて課題解決に向けた話し合いを重ねています。協議内容をホワイトボードに整理して協議後に振り返り、個々の授業に生かしています。



授業後の協議に対象教員だけでなく、管理職や若手教員育成担当者が参加する学校が徐々に増えています。今年度は訪問校55校中、約75%の学校で協議参加者の広がりが見られました。

若手教員の感想

- 授業のカギとなる教師の声かけや児童の発言を大切にし、教師が答えを前提に正解に近づけようとする形態は見直したいと痛感しました。児童とともに授業をつくり出していくことはとても難しいけれども、とても楽しいことだと学びました。(小学校講師2年目)
- 自分の担当教科以外の授業を参観することが大変勉強になりました。生徒に何を考えさせたいのか、どのように評価をするのか、生徒への支援として何ができるのかなど、自分の授業だけでなく、学級経営にも取り入れたい視点が多くありました。(中学校教諭3年目)

参加校の校長の感想

- 校内で若手を育てようとする機運が高まりました。「子どもが主となる授業づくり」をするための様々なアイデアをいただき、若手のみならずサポートする立場の教員も学びが深まり、支援体制が充実してきました。(小学校長)
- 授業参観を通して、授業づくりや生徒指導についてじっくり深め合う時間をつくることは、やはり若手教員にとって意欲向上につながることを再確認しました。(中学校長)

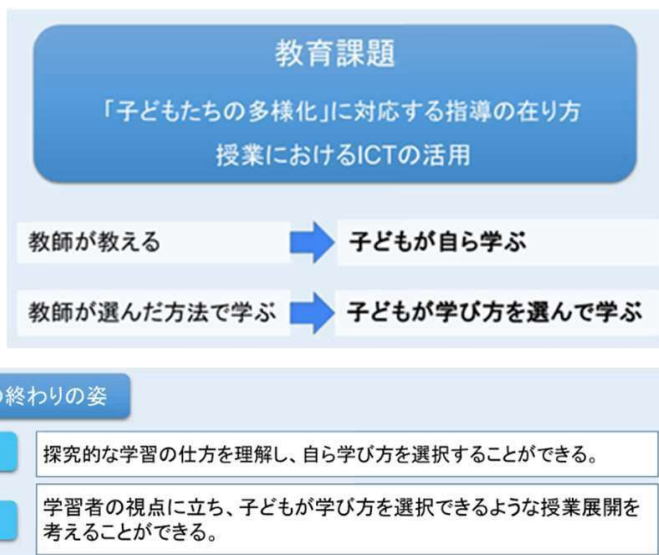
令和6年度 教育課題別研究の取組を紹介します！



令和6・7年度教育課題別研究は、「『個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実』のために、ICTを効果的に活用した授業づくりを行う」ことを目指し、研究協力校である「岡山市立妹尾中学校」、「岡山市立妹尾小学校」、「岡山市立箕島小学校」の3校とともに研究を進めています。

社会の急激な変化に伴い、子どもを取り巻く環境が変化することで、教室の中の子どもの多様化が進んでいます。そのような中で子どもたちを誰一人取り残すことなく、その資質・能力を育成するためには、基盤的ツールとなるICTも最大限に活用しながら子どもを主体にした授業への授業観の転換が必要であると考えます。

また、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図りながら授業づくりを進めるために、目指す子どもの姿と教師の姿を右のように設定し、研究を進めています。



ここでは、それぞれの研究協力校の授業実践を紹介します。

妹尾小学校

第6学年 国語科 人物と人物の関係を考えよう「風切るつばさ」

第一次では、初発の感想から学習課題を立て、子どもたちと一緒に単元の計画を立てました。

第二次の第1時～第3時までは、人物関係を読み深めるためにそれぞれ、日記・関係図・演じるという方法で学習を進めました。本時では、学習課題を解決するためにこれまでの経験をもとに自分に合った学び方を選択し、子どもたちが学びを進めていきました。

【単元計画】

| 探究の過程 | 次 | 時 | 授業スタイル | 主な学習活動 |
|------------|---|---|--------|--------------------------------|
| 課題の設定 | - | 1 | Learn | 全文を通読し、初発の感想や問いをもつ。 |
| | | 2 | Learn | 学習課題を作成し、単元計画を立てる。 |
| 情報の収集整理・分析 | = | 1 | Learn | 日記を書き、人間関係を読み取る。 |
| | | 2 | Learn | 関係図を書き、人間関係を読み取る。 |
| | | 3 | Learn | 演じることを通して、人間関係を読み取る。 |
| | | 4 | Select | 日記・関係図・演じるから学び方を選択し、人間関係を読み取る。 |
| まとめ・表現 | 三 | 1 | Learn | 全体の心情の変化から、作品のメッセージを表現する。 |



オクリンクを使って、互いの考えを共有しました。ICTを活用することで瞬時に友達の考えを見ることができます。



自然と会話が始まり、グループで話し合いながら課題を解決しようとしている姿が見られました。



実際に動き、演じることで人物関係がとらえやすくなりました。

箕島小学校

第1学年 体育科 「楽しくダンスバトル遊びをしよう!」

第一次では、ダンスの要素である「ねじる」、「回る」、「移動する」などの動きを遊びながら体験しました。第二次では、体験した動きの中から自分のネタ(動きの組み合わせ)を作り、ダンスバトル遊びをしました。「もっとかっこよく踊るためには、どのようにすればよいか」という問いを解決するために友達の真似をしたり、スライドを使いながら考えたりするなど、練習方法を選択しながら学習を進めていきました。

【単元計画】

| 探究の過程 | 次 | 時 | 授業スタイル | 主な学習活動 |
|----------------|---|---|--------|--|
| 課題の設定 情報の収集 | 一 | 1 | Learn | ねじる、回る、移動するなどの動きを知り、やってみる。 |
| | | 2 | | |
| | | 3 | | |
| 整理・分析 | 二 | 4 | Learn | ダンスバトル遊びのイメージをつくる。ねじる、回る、移動するなどの動きを組み合わせて、自分のネタ(動きの組み合わせ)をつくる。 |
| | | 5 | | |
| まとめ・表現 | 三 | 6 | Learn | 3人組1対1のバトル遊びをする。 |
| | | 7 | | |
| | | 8 | Select | 踊り方を工夫して、3人組1対1でバトル遊びをする。 |
| | | 7 | Learn | 6人組2対2でバトル遊びをする。 |
| | | 8 | | |



友達の踊りを見て、良い動きは真似をして自分の動きに取り入れていきました。



スライドを活用しながら自分のネタを考えました。ICTを活用することで試行錯誤しやすいです。



ダンスバトル遊びの合間にもスライドを使って踊る順番を考えている児童がいました。

妹尾中学校

第2学年 数学科 「図形の調べ方」

本時では、図形編集アプリを使って、へこみのある図形の角度の性質を見出しました。その性質を根拠を明らかにして説明することが本時のめあてとなりました。どの既習事項を活用すれば解決ができそうかを考え、オクリンクで共有し、解決の見通しを立てました。解決の見通しをもった後は、誰と学ぶか、時間配分をどうするかも生徒が選択しながら学びを進めていきました。

【単元計画】

| 探究の過程 | 時 | 授業スタイル | 主な学習活動 | |
|-----------------|---|--------|--------|--|
| 課題の設定 情報の収集 | 一 | 1 | Learn | 単元を通した課題をつかむ。対頂角の性質、同位角・錯角の関係について理解する。 |
| | | 2 | Learn | 平行線の性質・平行線になる条件について理解する。 |
| | | 3 | Select | 図形の角度を考えることを通して、既習事項を使えるようにするために、補助線を引けるようにする。 |
| | | 4 | Select | 練習問題に取り組み、今までの学習内容をふりかえり、自己評価をする。 |
| | | 5 | Learn | 三角形の内角の和を演繹的に説明する。発展的に授え、三角形の外角の性質を見いだす。 |
| | | 6 | Learn | 角の分類と角による三角形の分類を理解する。 |
| | | 7 | Learn | 多角形の内角の和の性質を見だし、それに基づいて外角の和を求めることができるようにする。 |
| 整理・分析 まとめ・表現 | 二 | 8 | Select | へこみのある図形の角度を求め、自分の考えを説明することができる。 |
| | | 9 | Select | 練習問題に取り組み、今までの学習内容をふりかえり、自己評価をする。 |



一人で学ぶ(左)、グループで学ぶ(右)など、教室には多様な姿がありました。



相互に説明し合うことで、よりよい説明にしています。



詳細は、令和7年3月末
研究成果物紹介ページ「すぽっと」
に掲載します!!

